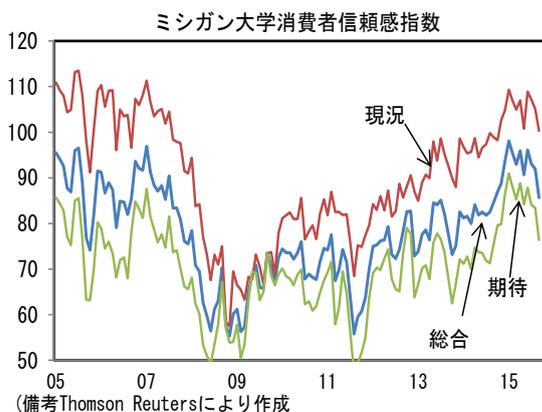


【海外経済指標他】～消費者信頼感：株安響く～

- 9月ミシガン大学消費者信頼感指数は85.7と8月(91.9)から大幅に軟化して市場予想(91.1)を下回った。現況(105.1→100.3)、期待(86.4→76.4)がともに直近1年分の改善をほぼ帳消しにした。ガソリン安が追い風となる一方、株価下落が逆風となった模様。最重要ファクターの雇用・所得環境の改善が継続しているため、株価下落が一服すれば、マインドは再び改善に向かうと判断されるが、少なくとも今回の結果は9月の利上げ見送りを支持する。なお、ダドリー・NY連銀総裁は8月26日に、金融市場の混乱が実体経済に与える影響を測るうえでは、ミシガン大学消費者信頼感指数が注目に値すると発言していた。

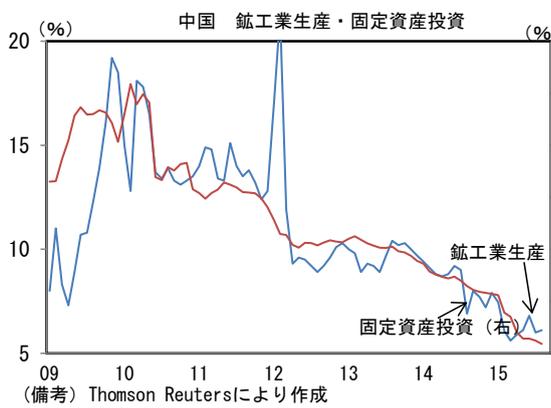


【海外株式市場・外国為替相場・債券市場】

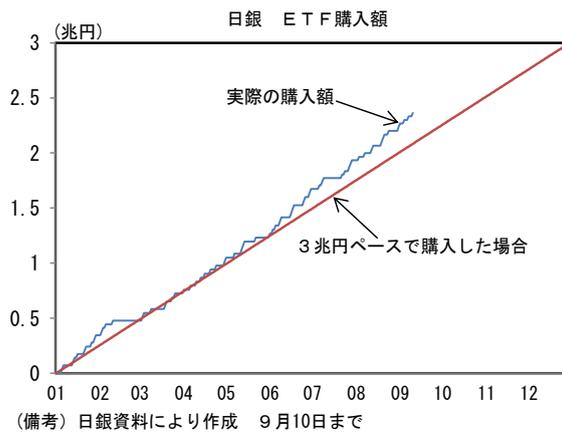
- 前日の米国株は続伸。米指標悪化を受けて9月利上げ観測が後退するなか、値ごろ感から買いが優勢。他方、欧州株は総じて軟調。主要国株価指数は軒並み1%程度の下落となった。
- 前日のG10通貨はGBPが最弱でJPYとUSDの弱さも目立った。一方、リスク回避姿勢が強まるなかでEURは堅調。USD/JPYは120後半で一進一退、EUR/USDは1.13半ばまで急伸。
- 前日の米10年金利は2.188%(▲3.4bp)で引け。米指標悪化、欧州株下落を受けて金利低下。他方、欧州債市場はコア国中心に堅調。独10年金利が0.653%(▲4.2bp)で引け、イタリア(1.834%、▲2.8bp)も金利低下となったが、スペイン(2.109%、+0.7bp)は追従できず、対独スプレッドは拡大。スペイン債については9月27日にカタルーニャ自治州の選挙を控えており、それが重石となっている。

【国内株式市場・経済指標他】

- 日本株は、過去数日の下落から自律反発して寄り付いた後、下落に転じた。
- 13日発表にされた8月の中国の経済指標は鉱工業生産が前年比+6.1%(予想+6.5%、7月+6.0%)、固定資産投資が前年比+10.9%(予想、7月+11.2%)と、何れも予想を下回った。生産はPMIが示唆したとおりの弱い内容で、固定資産投資も減速が続いているが、小売売上高は前年比+10.8%と予想外に堅調で幾分ダウンサイドリスクが払拭された。中国経済のリスクは依然として下向きだが、11日発表のマネーサプライ(M2)統計の底堅さに鑑みると、その度合いは幾分落ち着いてきた印象だ。



- ・明日は日銀金融政策決定会合の結果発表。9月会合で追加緩和を予想するのはブルームバーグが集計している35機関のうち僅かに2機関と少数派だが、ここ数週間の“悪い空気”を打破すべく日銀（黒田総裁）が行動を起こす可能性があるだろう。筆者はその可能性を10%程度と低めに見積もっているが、サプライズを好む黒田総裁の性格を踏まえると、ある程度追加緩和が予想されている10月末の会合を避け、このタイミングで動いても不思議ではない（不意を衝くという観点からは10月7日会合も要注意）。また、FEDの引き締めによって吸収される過剰流動性を日銀が補うことで、世界市場の安定化に資するという副次的効果も期待できる。為替市場では日米金融政策のベクトル相違が強烈に印象付けられ、USD/JPYが上昇するだろう。当然のことながら、株式市場では需給改善期待が高まろう。
- ・日銀の追加緩和を予想する材料の一つとしてETF購入額が年3兆円を上回るペースで進んでいることが挙げられる。9月10日時点で日銀は既にETFを2.36兆円購入済みで残りの枠は6000億円（2割）に過ぎない。弾切れの印象を市場に与えないためには増額が急務であり、日銀もそれを認識している筈だ。



<主要株価指数>		
	終値	前日比
日経平均※	18212.72	-51.50
N Y ダウ	16,433.09	102.69
D A X (独)	10,123.56	-86.88
FTSE100 (英)	6,117.76	-38.05
CAC40 (仏)	4,548.72	-47.81
<外国為替>※		
USD/JPY	120.68	0.09
EUR/USD	1.1343	0.00
<長期金利>※		
日本	0.345 %	0.000 %
米国	2.188 %	-0.034 %
英国	1.829 %	-0.044 %
ドイツ	0.653 %	-0.042 %
フランス	1.059 %	-0.039 %
イタリア	1.834 %	-0.028 %
スペイン	2.109 %	0.007 %
<商品>		
N Y 原油	45.67 ^{ドル}	-0.25 ^{ドル}
N Y 金	1111.40 ^{ドル}	2.10 ^{ドル}

※は右上記載時刻における直近値。図中の点線は前日終値。
(出所) Bloomberg

日経平均株価 10:10 現在

N Y ダウ平均株価

USD/JPY

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。